



七つ星

平成 30年度 第2号
発行 平成 30.5.1

〒337-0012 さいたま市
見沼区東宮下 1-1-1
Tel 048(685)0603

輝く笑顔 誇れる学校 ~さいたま市立七里中学校 学校だより~

今月の生活目標：「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」を大切に！

外見のみで判断してはならない、されど…

校長 榎山 正春

まもなく3年生が修学旅行で京都・奈良に出かけます。

世界遺産の地を訪れる修学旅行生はやはり多く、いわゆる“名所旧跡”“古刹名刹”だけでなく、全国各地から集まってくる中学生たちの地域色・お国柄を比べてみたり、昔の中学生との違いを考えてみたりするのも私にとって楽しみの一つです。昨年、久方ぶりに引率していった気づいたのは、かつて相当数にしたシャツ出しや腰パン、ミニスカートなど、服装をルーズにしている中学生が消滅していたということです。もちろん本校の生徒たちも学生服を着崩すような者は一人もおらず、みんな学生らしいCOOLな着こなしで、どこに出しても恥ずかしくない生徒たちだなあと感じました。今年度の3年生も昨年先輩たち以上に“誇らしい”姿を見せてくれることでしょう。



いささか古い話を持ち出して恐縮ですが、20年ほど前、神奈川県の高校入試で得点上は合格ラインを超えていた生徒が服装の乱れなどを理由に不合格とされたことが話題になったことがありました。合否判定の是非は置いておくとして、プライベート（私的）な場面とパブリック（公的）な場面とで服装や言葉遣い、態度などを適切に使い分けるのは必要なことだと思いますし、その意味でこの生徒はその場がプライベートなのかパブリックなのかを見極める力、年齢相応に身につけていて当然の判断力が足りていなかったのではないかと、内面の未熟さが外面にも現れていたのではないかと、という気がします。



「外見のみで判断してはならない」とよく言います。身だしなみなどに疑問符の付くような人がボランティア精神旺盛であったり、気配りがよくできたりするケースは確かにあります。またその逆に、頭のとっぺんからつま先まで完璧な装いをしている人間として大きな疑問符がついてしまう人がいることも確かです。ですが、脳にインプットされる情報量は、聴覚11%、嗅覚3.5%、触覚1.5%、味覚1.0%で、圧倒的に大きいのは視覚すなわち“見た目”で83%を占める、という説もあります。意にそぐわないおかしな誤解を招かないようにするには、“見た目”（外見）に気を遣うこともまた大切なことではないでしょうか？



本校では授業をはじめ、学校生活のさまざまな場面を通して「内面」・「外面」の両方を育てていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力をよろしくお願いします。

《工事のお知らせ》

本校にとって長年の懸案であった校舎外壁の改修工事がついに終わることになりました。工期は7月から11月の予定です。しばらくの間ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、何卒ご了承ください。